

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議 通信 第83号

(R2/10/1)



令和2年度 医療福祉・在宅看取りの地域創造会議 研修会

令和2年8月30日(日) 14:00~16:00



QOD(死の質)を実現する意思決定支援とは

【QOD】「Quality Of Death」の頭文字をとったもので、いかに満足して死を迎えるか、という死の質を表す概念。

今年度の研修会では、患者のQOD(死の質)を実現する意思決定支援について、スピリチュアルなケア、医療提供の立場、そして成年後見等の権利擁護の立場から、それぞれ専門職の取組について講演していただきました。コラボしが21を拠点に、web配信をメインで開催し、会場・web合わせて82名の方が参加されました。講師3名もそれぞれご職場やご自宅から講演していただき、講演後の意見交換では、滋賀県庁医療福祉推進課長の新垣さんの進行のもと、チャットで受け付けた参加者からの質問にもわかりやすく答えていただきました。3名の講師のお話を聞いた参加者からの感想を、一部、紹介します。

相談されると何か解決策を示さないといけないという思いに駆られますが、野々目先生の「傾聴」だけでも救われるというお話が印象的でした。(薬剤師)

臨床宗教師について、一般の方にももう少し認知度、理解が深まればと思いますし、我々在宅医療や終末期医療にかかわるものからも、いろいろなアプローチをしていくべきと思っています。(医師)



臨床宗教師(関西臨床宗教師会会長) 野々目 月泉さん

小さいお子さんを残して旅立とうとするお母さんへの支援、お子さんへの支援など、いろいろな看取りに対応するためにも、支援者が学ばないといけないことはたくさんあると思いました。(保健師)

地域を巻き込むことの大事さを改めて感じました。地域がしっかり出来ているから独居のかたでも在宅看取りができるのだと、思いました。(看護師)



在宅医師(米原市地域包括医療社センター「ふくしあ」) 中村 泰之さん

中原さんにお話しして頂いたように、「お金がなくならないように」ではなく、「自分らしく悔いなく生きるために」を前面に出して説明を行っていきたいと思います。(介護支援専門員)



後見人の権限等、知らないことばかりでした。一人暮らしの高齢者が増える中、地域で支えていくためには、医療職だけでなく多職種連携が重要になると改めて思いました。(教員)



権利擁護・成年後見(NPO あさがお) 中原 一隆さん

様々な側面から死というものへの対応を学ぶことができました。一人ひとり違っていいものであるからこそ、感動や学び、悩むことで各々の人生の最期が満足いくものになるような関りに大変感動しました。とても良い研修会をありがとうございました。(保健師)



三日月滋賀県知事の挨拶もwebで

本日の研修会により、在宅看取りにおける本人の意思決定支援について考えていきたい



越智代表幹事

お知らせ

【第88回ワーキンググループ会議】

テーマ:「多職種連携のなかで住民ができること」
話題提供者: チーム永源寺住民代表(民生委員児童委員) 九里 美和子さん
日時: 10月22日(木) 18:30~19:45

【「滋賀の医療福祉を守り育てる」県民フォーラム】

日時: 11月28日(土) 14:30~16:00
栗東芸術文化会館さくら 大ホール およびWEBにて同時配信
「人生最期のとき」をどのように迎えるか、狂言や落語を通じて共に考えましょう!
※申込方法等詳細は後日メーリングリストで案内します

【総会について】

今年は新型コロナウイルス感染予防のため紙面開催となりました。研修会に申込された方に総会資料を送って表決をとり、すべての議案について承認されたことを、研修会冒頭で報告しま

ご意見等お待ちしております!

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局(滋賀県庁 医療福祉推進課内) 金岡・西浦
TEL:077-528-3529/FAX:077-528-4851/E-mail:info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp